

【SitemapMakerとは】

SEO対策のひとつとしてサイトを作成した場合は、sitemap.xmlを作成する事が推奨されているようです。

sitemap.xmlを作成するツールは多く出回っていますが、規模の大きなサイトに対応しているものを見つける事が出来なかったため自作してみました。

sitemap.xmlは仕様として、1ファイル10Mbyte以内、URL50000個以内の制限があります。

上記を超過する場合、インデックスファイル（1000個のsitemap.xmlの登録が可能）を作成し、また必要に応じてsitemap.xmlをgzip方式で圧縮する必要があります。

sitemap.xmlはサイトを更新する度に再作成するものなので、インデックスファイルの作成や圧縮の自動化は手間が省けて良いのではと思います。

【ソフトウェアの機能・概要】

ローカルフォルダを読み込んでsitemap.xmlを生成します。

オプション設定により、49999URLで自動的にファイルを分割して

インデックスファイルを生成できます。

オプション設定により、gzip方式でsitemap.xmlを圧縮できます。

【使用条件】

ソフトウェアは無料で利用出来ます。

WEBサイトをお持ちの方は、作者サイトへリンクをお願いします。

SitemapMakerを使用してsitemapを作成するサイトから<http://kibanteam.com/>へリンクして下さい。

また本ソフトウェアの使用に関して生じる一切の損害について、作者は責任を負うことは出来ませんので、予めご了承頂いた上でご使用下さい。

【動作環境】

動作には、.NETFrameworkの2.0以上が必要です。

(<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/netframework/aa731542>)

【使用方法】

レジストリは使用していませんので、ダウンロード後に圧縮ファイルを展開し、すぐに利用が可能です。

- (1) フォルダパス：
作成するサイトのローカルフォルダを指定します。
- (2) WEBアドレス：
サイトを公開するURLを指定します。
(1)で指定したフォルダパスを(2)のURLに置換えて処理を行います。
- (3) 対象ファイル：
オプションでPDFファイルを対象にする事が出来ます。
- (4) 除外ファイル：
サイトマップを作成しないファイルを指定します。
- (5) インデックスを作成：
sitemap.xmlを分割し、インデックスファイル(sitemapindex.xml)を成します。
- (6) ファイルを圧縮：
sitemapファイルをgzip形式で圧縮します。
(5)でインデックスを作成する場合、sitemapファイルへのパスは圧縮ファイルとなります。
- (7) カウント表示単位：
表示単位毎に処理状況を表示します。
表示単位を小さくすると、処理速度が低下します。
- (8) XML作成>sitemap.xml生成：
sitemap.xml生成を実行します。

【連絡先】

Contact@kibanteam.com